

### 3 課 あらかじめ味わったプリスカ夫婦（使徒18:1～4）

序論の3つの祝福を味わっていると、ただキリストの中で生かして、生かされる出会いが与えられます。パウロは、序論の3つ（プラットフォーム、物見の塔、アンテナ）を24時、いつも祈っていました。

フォーラムしよう

#### 「神様の時刻表」

プリスカ夫婦は、ローマの法律によって自分の国に追い出されました。生活をしていたローマから追い出されたので、行くところでは住む家ありません。これは、問題のように見えます。

それが、問題ではなく、神様の時刻表でした。

神様を信じていたプリスカ夫婦は、パウロと出会います。これが、ローマ福音化の神様の時刻表の中での出会いとなります。

完全に神様の時刻表の中で、福音の力をあらかじめ味わい、出会いを味わい、宣教を味わいました。

ローマ 16:3-4

キリスト・イエスにあって私の同労者であるプリスカとアクラにより伝えてください。この人たちは、自分のいのちの危険を冒して私のいのちを守ってくれたのです。この人たちには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。

プリスカ夫婦は、パウロの同労者となり、自分のいのちの危険も冒しました。それは、パウロにいのちをかけたということではなく、神様の働き（宣教）のためにいっしょに働いたということです。

このようなとても大切な出会いが問題の中にはありました。私たちにも、問題が来たと思ったら、問題として見るのではなく、神様の計画、神様の時刻表を見ましょう。

